事例No.	2361
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	吉武地区コミュニティ運営協議会

事例区分	地域活性化

タグ	・地域運営組織 ・福祉・介護 ・教育・子育て

事例種類	地域運営組織

事例内容・タイトル

地域運営組織の持続的な運営に向けた
取組（吉武地区コミュニティ運営協議会）

出典

地域運営組織の持続的な運営に向けた取組事例集

よしたけ
吉武地区コミュニティ運営協議会 ①

15

【概要】

立地自治体		福岡県宗像市
設立年度		平成14年度
構成団体	構成団体	• 自治会・町内会 • 子ども・青少年育成に関わる団体 • 生涯学習・文化・スポーツに関わる団体 • 福祉活動に関わる団体、民生委員・児童委員 • 防犯・防災・交通安全に関わる団体 • 緑化・美化に関わる団体　・長生会
	協力団体	• 生涯学習・文化・スポーツに関わる団体 • 小中高等学校、専門学校・大学 • 社会福祉協議会、福祉サービス事業所 • 行政関係機関

人口規模		約1,800人
活動エリア		小学校区と概ね一致する
法人格の有無		無
体制		役員とは別の事務局体制を確保
詳細	役員	事務局長：1人
	役員以外	事務局員：6人
ホームページなど		https://yoshitake-cc.com/

【具体的な活動内容】

【子ども支援・子育て支援】

■ 「正助さんの寺子屋事業」「学童保育所の運営」

- 地域が両事業を運営しており、特徴ある子育て環境づくりに取り組んでいる。
- 寺子屋では学習会を行うとともに、日々の生活習慣の教育やスポーツ等も行っている。
- 学童保育は地域にとって不可欠な活動として、協議会が市から指定管理を受けて運営している。
- 登下校の交通安全活動や、高齢者と子ども達の世代間交流も実施している。







【高齢者支援】

■ よしたけ福祉の郷づくり会

- 高齢者などの地域住民が集う場として「居場所づくり」を進めており、参加者が講師になるなど個人の特技を活かしたボランティア活動が行われている。
- 地域のボランティア団体が集まり、食事や小学生との交流などの場づくり等、様々な活動が行われている。

吉武小学校児童との交流



出典：吉武地区コミュニティ運営協議会　資料

吉武地区コミュニティ運営協議会 ②

15

【住民の声を反映している取組事例】

取り組み	多様な主体と連携した事業の実施
経緯・狙い	• 平成14年に設立された当協議会は、市より地域活動の権限と財源の移譲を受けて、吉武地区コミュニティ・センターを拠点に、まちづくり計画に基づく自主的な地域活動を実施してきた。また、地域独自のまちづくり計画を策定しており、「子どもたちの育成」「高齢者のサポート」を柱に掲げていた。 • 子育て環境づくりを中心に様々な地域づくり活動を行ってきたが、地域運営組織や自治会等の役員だけでは人的パワーに限界があるため、学校や地域内外のボランティアと連携体制を築いている。
取組の概要	• 各事業を実施するに当たり、地域内住民ボランティアや学生ボランティア、地区外住民ボランティア等と連携している。 • 特に近隣にある複数大学との連携に力を入れており、大学の専攻内容（看護、教育等）に応じた協力をしてもらっている。例えば、看護師を目指す学生には高齢者の健康維持に関するアイデアや防災訓練時にアドバイスをもらったり、学童保育の指導員も教師を目指す学生等に参加してもらっている。 • 様々な人を巻き込むには、取組の目的や意義を理解してもらうとともに、具体的に役割を付与することや、世代を超えた交流の機会を持つことを重視している。 • また、当初、協議会に所属していなかった地域団体（登山道の整備等を実施）を、順次構成団体に位置付けて、地域活動に巻き込んでいる。各団体にとっても、協議会に参画すると、事務やチラシ・資料作り等のサポートを受けることができる等のメリットがある。
成果	• 多様な主体を巻き込むことで、活動の継続性を向上させるとともに、それぞれの特技を活かした効果の高い地域づくり活動が展開できている。
今後 取組みたいこと	• さらなる人手確保のため、住民自らが応援してくれるような気持ちを醸成したい。そのため参加者が楽しみながら、生きがいややりがいを感じるような仕組みづくりを行いたい。 • 地域包括支援センターとの連携を強化し、高齢者の「地域で自分らしく長生きしたい」「自宅で最期を迎えたい」といった希望を実現できるようにしたい。 • 地域組織の仕分けや役割分担できる仕組みづくりを通じて、自助・共助・公助をスムーズに橋渡しできる地域支援組織を育成していきたい。



出典：吉武地区コミュニティ運営協議会　資料